



Title	原田純治先生 略歴
Author(s)	
Citation	長崎大学教育学部紀要, 4, p.37-39; 2018
Issue Date	2018-02-28
URL	http://hdl.handle.net/10069/38117
Right	

This document is downloaded at: 2019-06-25T08:17:45Z



原 田 純 治

略 歴

- 昭和27年 8 月 長崎県佐世保市に生まれる
- 昭和46年 3 月 長崎県立佐世保北高等学校卒業
- 昭和50年 3 月 佐賀大学教育学部小学校教員養成課程卒業
- 昭和54年 3 月 九州大学大学院教育学研究科修士課程修了
- 昭和57年 3 月 九州大学大学院教育学研究科博士課程単位取得後退学

職 歴

- 昭和57年 4 月 九州大学教育学部助手
- 昭和60年 4 月 長崎大学教育学部講師
- 昭和63年 8 月 長崎大学教育学部助教授
- 平成14年 4 月 長崎大学教育学部教授（現在に至る）
- 平成20年 4 月 長崎大学教育学部附属幼稚園長（平成22年 3 月まで）

学会及び社会における活動等

- 昭和53年4月 日本心理学会会員（現在に至る）
 昭和54年4月 日本グループ・ダイナミックス学会会員（現在に至る）
 昭和55年4月 日本教育心理学会会員（現在に至る）
 昭和60年4月 九州心理学会会員（現在に至る）
 平成19年4月 長崎県小中高一貫教育研究部会委員（平成23年3月まで）
 平成20年4月 長崎市社会福祉審議会児童福祉専門部会委員（平成22年3月まで）
 平成21年4月 長崎市子育て支援センター運営団体選考委員会会長（平成22年5月まで）
 平成21年6月 長崎県道徳教育振興会議委員（平成24年3月まで）
 平成21年12月 九州心理学会理事（現在に至る）
 平成22年11月 九州心理学会第71回大会委員長
 平成23年4月 日本学校心理士長崎支部副支部長（現在に至る）
 平成27年1月 新上五島町立学校におけるいじめに関する第三者調査委員会委員（平成28年1月まで）

主な研究業績

(著書)

1. アイデンティティの心理学 遠藤辰雄編著，共著，ナカニシヤ出版，1981.
2. 対人行動の心理学 対人行動学研究会編，共著，誠信書房，1986.
3. 「他者を助ける行動」の心理学 中村陽吉・高木修編著，共著，光生館，1987.
4. 現代社会心理学 竹村研一編，共著，教育出版社，1988.
5. 社会心理学を学ぶ〔新版〕 大橋正夫・佐々木薫編，共著，有斐閣，1989.
6. 心のしくみ 箱田裕司編，共著，関東出版社，1991.
7. 現代のエスプリ—思いやりの心理— 菊池章夫編，共著，至文堂，1991.
8. セルフ・エスティームの心理学 遠藤辰雄・井上祥治・蘭千壽編，共著，ナカニシヤ出版，1992.
9. 生活諸相の心理ハンドブック 池田貞美編著，共著，北大路書房，1993.
10. 対人行動と集団 狩野素朗編著，共著，ナカニシヤ出版，1995.
11. 教育心理学—理論と実践— 鈴木康平・山内隆久編著，共著，北大路書房，1998.
12. 対人行動学研究シリーズ7 人を支える心の科学 松井豊・浦光博編，共著，誠信書房，1998.
13. 社会心理学—対人行動の理解— 原田純治編著，共著，ブレーン出版，1999.
14. シリーズ21世紀の社会心理学1—対人行動の社会心理学— 高木修監修・土田昭司編，共著，北大路書房，2001.

(学術論文)

1. 援助行動に関する一考察—寄付行為に及ぼす匿名性及び寄付対象のちがいの効果— 共著, 九州大学教育学部紀要23(1), 1978.
2. 恐怖条件下の親和性に及ぼすパーソナリティ要因の効果 共著, 九州大学教育学部紀要24(2), 1980.
3. 援助行動に及ぼすパーソナリティ要因の効果 共著, 九州大学教育学部紀要25(1), 1980.
4. 援助行動に関する実験的研究—傍観者介入に及ぼす状況要因の効果— 単著, 心理学研究51(5), 1980.
5. The effects of interpersonal distance and number of potential helper on helping behavior. 共著, 実験社会心理学研究21(1), 1981.
6. 環境への親近性が援助行動に及ぼす効果 共著, 九州大学教育学部紀要26(2), 1982.
7. The effects of positive and negative experiences on helping behavior. 単著, *Japanese Psychological Research*, 25(1), 1983.
8. 援助行動に及ぼすパーソナリティ要因の効果(Ⅱ)—都市化傾向、利他性と援助行動— 単著, 九州大学教育学部紀要28(1), 1983.
9. 利他的動機について 単著, 九州大学教育学部紀要29(2), 1985.
10. Bystander intervention: The effect of ambiguity of the helping situation and the interpersonal relationship between bystanders. 単著, *Japanese Psychological Research*, 27(4).
11. 援助行動と動機・性格との関連 単著, 実験社会心理学研究30(2).
12. 援助手控えの援助性認知に関わる要因に関する研究 単著, 長崎大学教育学部教育科学研究報告54, 1998.
13. 教育心理学における社会心理学的研究—自己概念から集団規範まで— 単著, 教育心理学年報40, 2001.
14. 「独自の人物」に対する対人認知構造の次元的分析 単著, 長崎大学教育学部紀要63, 2002.
15. 離島における教育の実情と課題 共著, 鹿児島大学多島圏研究センター南太平洋海域調査研究報告45, 2006.
16. 離島の子どもの学習適応性に関する研究 共著, 大学と学校教育現場の連携による離島・僻地教育の推進, 2009.
17. 教師から見た離島の教育と子どもたち 共著, 大学と学校教育現場の連携による離島・僻地教育の推進, 2009.
18. 高校生の進路意識に関する実践的研究—ロール・レタリングの手法を用いて— 共著, 長崎大学教育学部教育実践総合センター紀要13, 2014.
19. 属性あるいは能力賞賛に対する自己卑下の呈示に関する研究 共著, 長崎大学教育学部紀要81, 2017.
20. 転校経験の影響に関する心理学的研究—自己効力感とソーシャルスキルの観点からの分析— 共著, 長崎大学教育学部紀要81, 2017.

